

人権教材

他にも多数の作品を
収録していますので、
是非ご活用ください。



ともだちみーつけた 〈DVD/16分〉

自己主張だけでは友達になれないことや、友達になるには相手の気持ちを思いやる心が大切だということを描いた作品です。

森の奥に住む主人公は、旅の途中で気の強い女の子に出会います。主人公は女の子と友達になろうとしますが、彼女は意地悪ばかりします。しかし、主人公が立ち去ろうとすると、慌てて追いかけてきます。本当は女の子も友だちになりたかったのです。

二話構成で、一話目は相手を思いやる心、二話目は勇気を持ってチャレンジする心と見守る友情がテーマになっています。

いじめと戦おう！小学生篇 ～私たちにできること～ 〈DVD/21分〉

いじめの成り立ちと、傍観者となった少女が、迷いながらも”いじめの図式”を崩そうと動く姿を描いています。

初めはふざけていただけだったはずが、徐々にエスカレートし、いじめが生まれていきます。小学6年生の主人公は、気がつけばいじめの傍観者となっており、悩みつつも行動することができません。しかしある日、信頼するお姉さんに相談したところ、「自分のできる範囲でいいから、行動してみよう」とアドバイスされて…。

いじめの図式を崩すことでいじめと戦うという、いじめ防止の取り組みを描いた作品です。



いじめと戦おう！中学生篇 ～もしもあの日に戻れたら～ 〈DVD/23分〉

いじめの傍観者となった中学生が、いじめのメカニズムを知ること、いじめを止めようとする姿を描いています。

いじめっ子は、ターゲットを見つけると、その人の弱点を周囲に知らせることでいじめを正当化します。また、周囲が笑えば笑うほど、いじめっ子は自分が周りを楽しませていると勘違いし調子に乗ります。中学二年生の主人公は、いじめをとめるためにはまず、周囲が面白がらないことが大切だと気づきます。

いじめの構図を崩すにはどうすればよいかという視点を中心に作られており、いじめ問題全体の話し合いに活用できます。

申し込み先: 総合教育プラザ 教育資料室

TEL 027(230)9094 (月～金 9:00～17:00)

FAX 027(230)9099